



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## 冬期間における中・大型哺乳類調査

全国各地でニホンジカの個体数が増加しており、農林業に大きな被害を及ぼすだけでなく、森林生態系にも深刻な影響を及ぼしており、白神山地とその周辺地域でも近年目撃情報が多くなっています。そのため、当センターでは、6月から11月まで白神山地の青森県側に赤外線センサーカメラを35台設置して、中・大型哺乳類調査を実施していますが、冬期間にも継続して職員による調査を実施しており、その概要をお知らせします。



雪と笹の斜面を黙々と歩く

冬期間における中・大型哺乳類調査は、既存のモニタリング調査地で、冬期間でもアクセスが比較的容易な、深浦町と西目屋村の13箇所を選定して調査を実施しており、赤外線カメラのメンテナンスのため、2週間から1ヶ月の間隔で山に入り、保守点検及びデータ回収を実施しています。昨年度に比べて積雪量は少ないものの、車を降りてから場所によっては30分程度雪と笹をかき分けて現地に向かいます。

カメラにたどり着くと、カメラの位置が変わっていないか、カメラの部品が破損・欠損していないか、電池の残量は大丈夫かを確認し、撮影データを記録したSDカードを新しいものと交換して、最後にカメラの撮影設定に間違いがないかを確認してから電源ONで設置完了。



鍵の凍結防止のため、油を注入



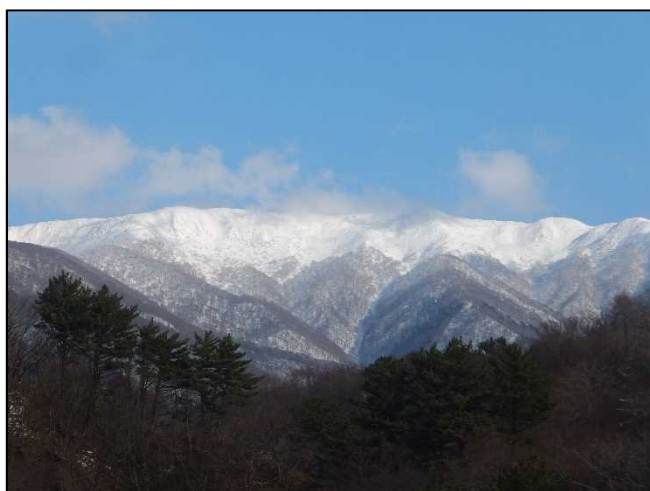
メンテナンス作業中

回収したデータについては、事務所において撮影された個体の識別、撮影日時等を判別して集計作業を行っています。カモシカ、タヌキ、キツネ等の哺乳類が多く撮影され、場所によってはニホンジカも撮影されていますので、生息状況を把握して今後のニホンジカの捕獲等対策につなげていきます。



赤外線カメラで撮影されたニホンジカ（オス）

冬期に実施する調査は、圧雪・アイスバーンの路面に神経を使い、寒さで手足がかじかみ、つらい作業で心が折れそうになりますが、晴れた日の絶景や動物達のお出迎いで癒やされており、その一部を紹介します。（高木）



冬晴れの白神山地



冬の日本海（千畳敷海岸）



ニホンザルのお出迎え



ニホンザルの足跡